

人材育成産学交流会「テクノカフェ大分 2014 ～地域活性化と若手研究者の飛躍を目指して」を開催

本学工学部は、7月28日(月)、大分産業人クラブ(会長:デンケン株式会社 代表取締役社長 石井 源太)との共催で、人材育成産学交流会「テクノカフェ大分 2014 ～地域活性化と若手研究者の飛躍を目指して～」を開催しました(参加数:50名(学生数:28名,学外者:16名))。

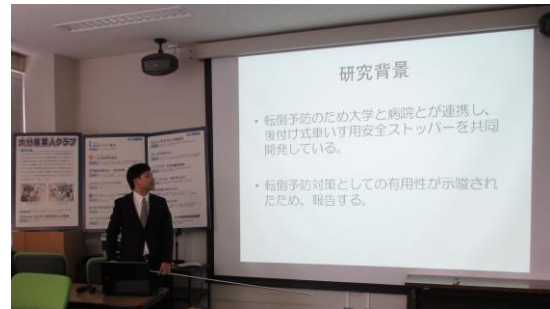
この交流会は、今回が第3回目となり、「未来のイノベーション探究、若人とともに」をテーマに、企業等関係者の方と大学関係者、特に将来の期待される若手研究者(大学院生)との交流をメインとした行事です。

また、大分大学は、スーパー連携大学院コンソーシアムの一員として大学間連携共同教育推進事業に参加しています。本行事は、「大学間連携共同教育事業地域コア活動」としても位置付けられています。

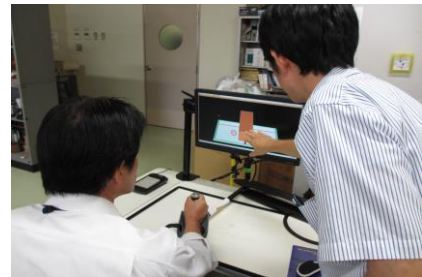
会では、最初に大学院生が講演(研究成果発表)を行い、続いて企業等関係者の方々に、工学部生体情報工学講座(上見研究室)および人間システム工学講座(菊池研究室)の見学・研究紹介を行いました。最後に大学院生22名による研究紹介を兼ねたポスター発表を行いました。

このポスター発表では、ご参加いただいた企業等関係者の方々に、大学院生が日頃の研究成果の説明を熱心に行い、予定終了時間を超えて白熱した意見交換が行われました。また、このポスター発表内容について、企業等関係者の方々からなる審査委員が審査し、優れた発表に対して若手優秀研究者賞(3名)及び特別賞(2名)が石井会長から授与されました。

会の最後には、表彰式を兼ね交流会が行われ、盛会のうちに終了しました。



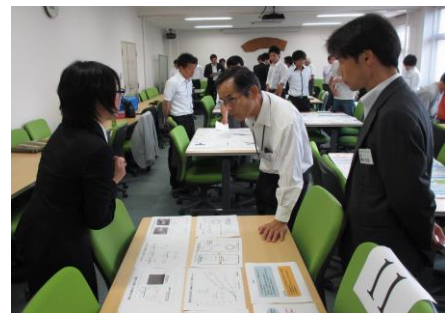
大学院生の講演(福祉機器)



研究室見学(メカトロニクスコース)



ポスター発表での質疑
(デンケン石井社長:会長)



ポスター発表での質疑
(さびえる太田社長(奥))



会終了後の集合写真(中央:石井会長, 両隣:受賞者)